

平成 17 年 12 月 28 日

(仮称)西東京市リサイクルプラザ見直しに伴う課題・問題点の
整理について(報告)

(仮称)西東京市リサイクルプラザ庁内検討委員会
委員長 斉藤 静 男

標記の件について、平成 17 年 5 月 13 日から(仮称)リサイクルプラザ庁内検討委員会において「(仮称)西東京市リサイクルプラザ見直しに伴う課題・問題点」について調査を行い一定の整理をしたので報告いたします。

記

1 はじめに

(仮称)リサイクルプラザは、平成 10 年 10 月 2 日に廃棄物処理審議会へ「リサイクルプラザ構想について」の諮問を行い、平成 12 年 2 月 24 日に同審議会から「多くの市民が集まりやすい利便性のある場所とする。ごみの問題だけでなく環境問題や消費者問題を含んだ総合センターとすること。市民が関心を寄せられるような事業内容とすること。」この 3 点を基本に施設整備し、施設そのものもリサイクル建築が望ましい、との答申がなされました。その後、平成 12 年 4 月 27 日の田無市・保谷市合併協議会で、(仮称)リサイクルプラザ建設事業が新市建設計画の事業として確認され、平成 16 年 3 月策定の西東京市総合計画では確認された内容がそのまま引き継がれました。

平成 16 年度には、(仮称)リサイクルプラザ建設事業として着手され、平成 15 年度から市民参加により検討中だった「(仮称)西東京市リサイクルプラザの事業及び施設の整備について」が平成 16 年 5 月 28 日に(仮称)西東京市リサイクルプラザ市民懇談会より提言として報告されました。

市ではこの提言を受け同年 7 月には基本設計を、翌年の平成 17 年 3 月には実施設計書を作成、平成 17 年 3 月 1 日には事業用地として 3,229.01 m²を取得するに至っています。

今回、当委員会として、政権公約【目標 26】リサイクルプラザ見直し方針に基づき、「(仮称)西東京市リサイクルプラザ見直しに伴う課題・問題点」の整理を行ったところです。

なお、整理に当たりましては、中止から継続までの 5 案について検証し取りまとめた中間報告、5 案から絞り込みされた 2 案の実現可能性を検討した最終報告となっております。

さらに、当委員会では桑名市・クルクル工房への行政視察の結果、ごみ処理における課題であるリサイクル(再資源化)、リユース(再使用)、リデュース(発生抑制)の 3 R、さらに環境学習活動拠点としての整備、建設費のコストダウンを図る等の要件を検討し、実現可能と考えられる基本計画(たたき台)・スケジュール案を作成しましたので併せてご報告させていただきます。

2 中間報告について(別紙 1)

平成 17 年 5 月 10 日開催の全員協議会にて説明した見直しの基本的な考え方を視点に、

中止から継続までの 5 案を作成しそれぞれの案について調査を行い課題・問題点を整理しました。

1 見直しの基本的な考え方

- (1) 廃棄物処理経費の総コスト削減に向けた戦略・戦術拠点として運営されること。
- (2) 合併特例債の活用を前提とした施設であること。
- (3) リサイクルプラザの建設コスト、ランニングコストの縮減を図る。
- (4) ごみの減量化・資源化も含めた環境行政に貢献できる施設であること。
- (5) 見直しは一定の市民参加のもと進める。

2 見直しのスケジュール

1年以内の見直しとする。

3 最終報告について（別紙 2）

平成 17 年 11 月 14 日に開催した関係首脳部会議において絞り込まれた「(ウ) 建築計画の大幅な変更 2 階建～2 階建」「(エ) 建築計画の小幅な変更」の 2 案について、総合計画など上位計画との整合性は、市民参加の方法は、財政への影響は、保谷庁舎整備スキームは、それらの計画変更に伴う合併特例債への影響など具体的な検討を行いました。また、関係首脳部会議で絞込に当たり議論のあった次の項目についても検討項目に加えたところです。

その結果、(ウ) 建築計画の大幅な変更（2 階建て～2 階建て）は実現の可能性が高く、(エ) の建築計画の小幅な変更は建設費・維持管理費のコストダウンにつながらないことが明らかになりました。

- (1) 3R の戦略機能が展開できること。
- (2) リサイクルの持ち込み機能を持たせることが望ましい。
- (3) 普段持ち込めないものを持ち込めないか。
- (4) 建設コストは鉄骨構造から軽量鉄骨構造にすることにより、景観に配慮した建築物を建設しつつも大幅な建築費の縮減は可能ではないか。
- (5) プラザ機能を開放型にすることにより光熱費の縮減が図れるのではないか。

4 基本計画（たたき台）について（別紙 3）

最終報告と平行して基本計画（たたき台）と建設スケジュール案を作成しました、このたたき台は、見直しの基本的な考え方、関係首脳部会議で議論のあった考え方を基に次の観点から作成しました。

(1) 骨格構造材の見直しによるコストダウン

- ◆ 市民が主体的に利用するプラザ機能部分は将来の利用形態の変更にも耐えられるよう広い空間が確保できる鉄骨構造とし、比較的広い空間を必要としない事務機能部分は骨格材の肉厚が薄い軽量鉄骨構造とすることで総体としてのコストダウンを図る。

(2) 機能の見直しによるコストダウン

- ◆ 清掃係職員退職者不補充に併せ事務室機能分の建物容積を圧縮する。
- ◆ 3R 実現に必要な拠点としての会議室を設置する、但し臨時的に必要な大会議室はこもれびホール、建設予定の住吉福祉会館の会議室が使用可能なことからこれらを有機的に活用することでコストダウンを図る。

(3) 設備の見直しにおけるコストダウン

- ◆ 基本計画で示された 家具展示スペース、スタッフコーナー及び、建物と一体施工によりコストが低減される太陽光発電、雨水貯留槽は基本計画に含み、風力発電、壁面緑化、生ごみ処理機についてはオプション設備とし、今後必要な時期に設置することで初期コストを抑える。
- ◆ 西側駐車場は清掃系の職場と駐車場が隣接し車両の管理が容易になることから縦列駐車とし、来庁者駐車場・催事スペースをより多く確保する。

(4) 周囲の環境と調和のとれた景観の創出

- ◆ 完成予定の調布・保谷線、都道 233 号線から建物が容易に認識でき、こもればホール、周囲の景観と調和のとれたデザインとする。

5 その他

関係首脳部会議で案の絞り込みを行った経過（別紙 4）

6 検討経過

(仮称)リサイクルプラザ庁内検討委員会の主な活動と関連する事項

年 月 日	主 な 内 容
平成 17 年 5 月 13 日	議題（仮称）西東京市リサイクルプラザの見直しについて 所掌事務別に、中止から継続までの 5 案について、どのような課題・問題点があるか委員に調査依頼した
平成 17 年 7 月 22 日	議題（仮称）西東京市リサイクルプラザの見直しについて 提出された調査書を基に中間報告として取りまとめた
平成 17 年 8 月 23 日	関係首脳部会議に中間報告を行った 全員協議会で示した見直しの基本的な考え方を視点に課題・問題点を整理した内容
(平成 17 年 11 月 11 日)	委員会事務局が桑名市のリサイクル推進施設「クルクル工房」へ行政視察した
(平成 17 年 11 月 14 日)	平成 17 年 11 月 14 日に開催した関係首脳部会議において、既に作成した中間報告及び桑名市への行政視察報告を受け、5 案から案の絞り込みを行った 絞り込まれた案は(ウ)建築計画の大幅な変更 2 階建～2 階建」「(エ)建築計画の小幅な変更」の 2 案
平成 17 年 11 月 24 日	議題（仮称）西東京市リサイクルプラザの見直しについて ◆ 所掌事務別に、絞り込まれた案は(ウ)建築計画の大幅な変更 2 階建～2 階建」「(エ)建築計画の小幅な変更」の 2 案について、どのような課題・問題点があるか各委員に調査依頼した ◆ 実現可能な計画案の作成について調整
平成 17 年 12 月 27 日	議題（仮称）西東京市リサイクルプラザの見直しについて 5 案から絞り込みされた 2 案における実現可能性を検討した最終報告書の作成
平成 17 年 12 月 28 日	議題（仮称）西東京市リサイクルプラザの見直しについて (仮称)西東京市リサイクルプラザ見直しに伴う課題・問題点の整理について(報告)

()内は関連する事項

(仮称)リサイクルプラザ庁内検討委員会名簿

平成 17 年 7 月 1 日現在

委員長	斉藤 静 男	環境防災部参与	2201
副委員長	河原 正 明	環境防災部ごみ減量推進課長	2220
委員	飯 島 享	企画部企画課長	1101
委員	河 村 誠	企画部副参与兼情報推進課長	1160
委員	安 藤 俊 秋	総務部建築営繕課長	1270
委員	大 村 美 一	総務部副参与兼保谷庁舎管理課長	2110
委員	佐 藤 秀 一	市民生活部生活文化課長	1410
委員	山 本 忠 正	環境防災部副参与兼環境保全課長	2210
委員	桜 井 勉	環境防災部環境保全課長補佐兼環境計画係長	2214
委員	三 芳 榮	保健福祉部副参与兼保健福祉総合調整課長	2310
委員	坂 口 基 成	都市整備部副参与兼都市計画課長	2410
委員	糟 谷 健 一	都市整備部副参与兼道路管理課長	2450